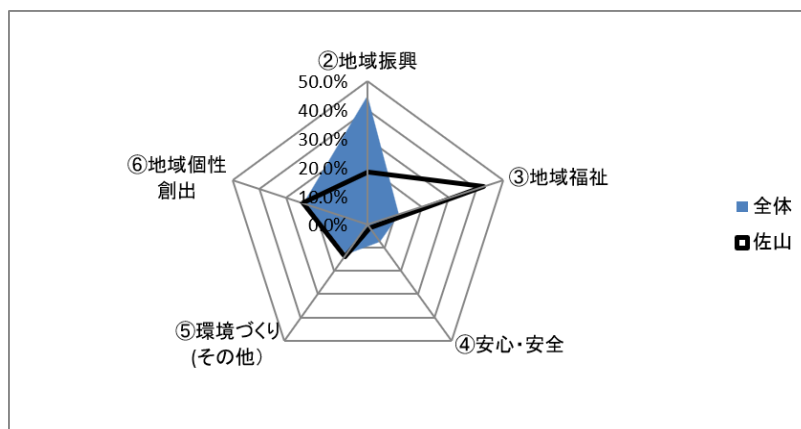


佐山地域づくり協議会 地域づくり交付金事業概要(令和7年度)

■地域の情報

地域人口	2,485人	自治会数	11
世帯数	1,024世帯	自治会加入率	84.8%

※数値は、令和8年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	9,578,000 円
交付金決算額	9,578,000 円
その他収入	473,775 円
交付金決算額／配分額	100.0%

各分野の決算

①協議会運営	4,518,598 円
②地域振興	378,537 円
③地域福祉	887,253 円
④安心・安全	29,722 円
⑤環境づくり(土木工事)	3,451,000 円
⑤環境づくり(その他)	285,428 円
⑥地域個性創出	501,237 円
決算総額	10,051,775 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

地域の住民や各種団体等が相互に協力・連携することにより、コミュニティ意識を高め、地域全体で課題の解決に取り組み、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

■総括

今後も、行政や地域団体等と連携しながら、佐山の暮らしを良くするための「第4次佐山地区地域づくり・福祉活動計画(令和4～8年度)」を地域全体で着実に実行することで、子どもから大人までの幅広い年齢層の交流を図り、地域の中で人と人をつなぎ、安全安心で住みやすい地域をつくります。

■分野別事業名

① 協議会運営	協議会及び事務局の運営
② 地域振興	地域づくり協議会だより発行事業、地域活性化交流活動推進事業、地域振興活動推進事業
③ 地域福祉	買物・病院便運行事業、健康づくり活動推進事業
④ 安心・安全	自主防災組織基盤強化事業、子ども見守り事業、交通安全対策事業
⑤ 環境づくり	土木工事(法定外公共物)、フラワーロード花壇整備事業、地域環境整備事業
⑥ 地域個性創出	フラワーロード研修・交流広場整備事業、地域イベント開催支援事業

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	自主防災組織基盤強化事業	決算額	29,722円
	目的	自主防災組織の基盤強化を図ります。		
	実施内容	自主防災会を中心に「総合防災訓練」や「トランシーバー交信訓練」、小学4年生の「防災体験学習」を行いました。		
	実施時期	令和7年5月25日、6月18日、9月9日、12日、令和8年1月25日		
	参加人数	239人		
	成果	地域住民全員を対象とした「総合防災訓練」を実施したことで地域住民の自主防災意識を高めるとともに、自治会内での安否確認や避難行動の支援、自主防災本部との連携等、災害時における自主防災組織の対応を確認することができました。併せて今回は県の総合防災訓練と合同で訓練を実施したことにより、地元企業との連携や企業施設への避難経路の確認など、いつもより多くの経験を積むことができました。 また恒例事業として、小学4年生を対象とした「防災体験学習」を開催し、紙芝居やDVDを使って説明したり、非常の防災用品を展示したりと、例年わかりやすく説明することで、子どもたちに防災の重要性を説くことができました。		
	評価	このたびの「総合防災訓練」では、これまで実施してきた訓練に追加して、県との合同訓練ということもあり、さらに避難場所も(株)ファーストリテイリング協力のもと、本社体育館へ参集することで、地元企業を知り、さらに企業施設への避難経路を現実を確認することができ、県や協力企業、地元にとって大変有意義な訓練でした。 そのほか、恒例の防災行事を実施することで、小学生を含めた地域住民への啓発を図ることができ、今年度も自主防災組織として十分な活動を行うことができました。		
②	今後に向けて	今後も、自治会や行政と連携しながら、避難訓練をはじめ、「トランシーバー交信訓練」、「防災体験学習」を継続実施、隔年で「総合防災訓練」と「防災先進地視察研修」を開催して、地域住民の自主防災意識を高め、災害に強い組織づくりを図ります。		
	事業名	フラワーロード花壇整備事業	決算額	171,819円
	目的	地域内の環境美化と、世代間の交流を図ります。		
	実施内容	「フラワーロード佐山」を中心に、国道190号沿いの花壇づくりや、小学3年生への「花の植え付け体験」を行いました。		
	実施時期	通年		
	参加人数	236人		
	成果	佐山の玄関口となる国道190号沿いの「フラワーロード佐山」の花壇に、ポータラカや芝桜をたくさん植え付けることで、道行く車両の方々に美しい風景を提供することができました。また、今年度も小学3年生の環境学習として「花の植え付け体験」を実施し、実際に子どもたちと「フラワーロード佐山」の花壇づくりを一緒にやることで、環境美化への意識付けをすることができました。		
	評価	比較的交通量の多い国道190号沿いにある「フラワーロード佐山」は、常に通行車(通行者)を楽しませてくれる丁寧に維持管理された花壇です。今年度も引き続き、小学生と花壇づくりを行うことで、環境美化を伝え、土を触ることの大切さを教えることができたのではないかと考えます。また管理に参加される地域の方々との交流会を開催することで参加者同士の繋がりを醸成できました。		
	今後に向けて	今後も、佐山の玄関口としての環境美化に努め、花壇づくりを一つの目的とした世代間交流を行います。		

③	事業名	地域イベント開催支援事業	決算額	250,447円
	目的	地域住民の多世代交流の場をつくり、文化体育行事の活性化を図ります。		
	実施内容	文化体育部会の青壮年層（青壮年部、子ども会、PTA、コムスポ）が中心になって企画した、多世代交流イベント（さやま～フェス、さやま小正月祭、三世代交流ボウリング大会）の開催費用等を支援しました。		
	実施時期	令和7年5月31日、8月30日、11月2日、12月7日、令和8年1月10日、2月23日		
	参加人数	3, 225人		
	成果	主に「さやま～フェス」と称した夏祭りイベントとして、青壮年部や子ども会、PTA等の複数の地域団体が加わり、文化体育部会の主催として開催、地域住民の多世代交流の場をつくり、文化体育行事の活性化を図ることができました。		
	評価	1年を通して「さやま～フェス」のほかにも、運動会やふるさとまつり、小正月祭など、複数の地域団体が協力・連携して、地域住民の多世代交流の場をつくり、地域イベントを盛り上げました。各イベントにおいて、関係団体が協働して開催することで、文化体育行事の活性化を図っています。		
	今後に向けて	今後も、行政や地域団体等と連携しながら、子どもから大人までの幅広い年齢層の地域内交流を促進するための地域イベントを支援します。		